



「インスピレーションになろう」 BE THE INSPIRATION

2018-19年度 RI会長/バリー・ラシン RI.D2590ガバナー/金子 大 横浜旭RC会長/市川 慎二

国際ロータリー第2590地区

横浜旭ロータリークラブ

事務所 横浜市旭区二俣川1-37-3 NJTS1階/〒241-0821
TEL.045-465-6702/FAX.045-465-6712
http://yokohamaasahirc.cho88.com

Email:asahirc@titan.ocn.ne.jp

例会場 横浜市旭区二俣川1-45-30工藤ビル
(株岡田屋3階会議室)

例会日 毎週水曜日/12時30分～1時30分



被災地の子ども達にXマスプレゼント



チャリティーコンサート



ガールスカウトとクリーン作戦

2019年6月19日 第2387回例会 VOL.50 No.46

■司 会 副SAA 内田 敏

■開会点鐘 会 長 市川 慎二

■齊 唱 手に手つないで

会員数	30名	本日の出席数	24名
本日の出席率	8.89%	修正出席率	96.30%

■本日の欠席者

宋

■他クラブ出席者

増田 (横浜田園 RC・横浜あざみ RC)

二宮、兵藤 (横浜瀬谷 RC)、新川 (地区)

■ゲスト

新野 徹様 (例会見学、兵藤会員ご友人)

■6月皆出席者表彰



市川 慎二会員

7年

■会長報告

皆様、こんにちは。6月も下旬となり、ここ数日は晴れの日が多いですが、暗い雨雲が

低く垂れこんでいる空の日には梅雨本番と感じさせます。

さて、江戸時代後期から「報徳の教え」二宮金治郎の言葉があります。「人のために善を尽くすことが、やがて自らを利することになる」として、例えられたのが湯船の論しです。

「湯に入って、お湯を手で己の方にかけて湯は我が方へ来るようだが、すぐ向こうへ戻ってしまう。反対に、向こうへ手で押しやれば、やがて我が方へ流れ帰る。少し押しせば少し帰るし、強く押しせば強く帰る。これが、天理というものである」まさに、万物に通じる自然の道理を例えたものですが、「最もよく奉仕するもの、最も多く報いられる」という、アーサー・フレデリックシェルドンの奉仕コンセプトを、すでに提唱していたように思えます。

偉人とされる人の、ほとんどに、ロータリーの理念に通じるものがあり、そのたびに奉仕の理想といった意味を考えさせられます。

本日は安藤幹事と私とで、一年間の振り返りをさせていただきます。

○地区関係

次年度になりますが7月3日の第1例会に、横浜瀬谷ロータリークラブより、新旧会長幹事の4名が来会されます。

当クラブは7月5日に同じく新旧会長幹事で訪問して参ります。

○クラブ関係

6月26日は夜間移動例会として、18時～仕立屋となります。

■国際大会参加報告 二宮 登

2019年国際ロータリーハンブルグ年次大会参加と、北欧3ヵ国世界遺産フィヨルドの旅10日間を家内と楽しんで来ました。スイスのロザーヌ大会以来44年ぶりにハンブルグの町を散策してきました。Hamburg2019のバナーです。



■ニコニコBOX(会員敬称略)

市川 慎二／①今日は1年間を振り返り、卓話をさせていただきます。一年間有難うございました。②新潟で被災された皆様にお見舞いを申し上げます。③二宮さん、五十嵐さん、お土産を有難うございます。④皆出席を頂き有難うございました。⑤新野様、ようこそいらっしゃいました。

安藤 公一／①皆様のお蔭で一年間何とか幹事を務めることができました。ありがとうございました。②二宮さん、五十嵐さん、お土産ありがとうございます。おいしく頂きました。

吉原 則光／市川会長・安藤幹事の本年度、とどこおりなく立派な功績を残し終わられる事、お目出とう心からお祝い申し上げます。

二宮 登／①2019年国際ロータリーハンブルグ年次大会参加と、北欧3ヵ国世界遺産フィヨルドの旅10日間を家内と楽しんで来ました。スイスのロザーヌ大会以来44年ぶりにハンブルグの町を散策してきました。

増田嘉一郎／1年間お世話になりました。ありがとうございました。新潟、山形の震災の被害が大きい事を願っています。

内田 敏／①市川会長、安藤幹事、今期も

あとわずかになりました。1年間本当にご苦労様でした。②五十嵐さん、ウイーンのお土産有難うございました。

五十嵐 正／増田さん、市川さん、安藤さん、一年間お疲れ様でした。有難うございました。佐藤 利明／市川会長、安藤幹事、各委員会の皆様、一年間大変ご苦労様でした。市川会長の毎週のご挨拶素晴らしく楽しみにしておりました。

青木 邦弘／会長・幹事一年間ご苦労様でした。今日早退します。クラブでオリンピック聖火ランナーに応募しましょう！

新川 尚／本日、チャリティーコンサートの報告書を配布しました。ぜひご一読下さい。

田川 富男／①市川会長、安藤幹事、増田ガバナー補佐、一年間ご苦労様でした。

斎藤 善孝／市川会長・安藤幹事一年間ご苦労様でした。来月からはゆっくりとお過ごしください。

目黒 恵一／①増田ガバナー補佐、市川会長、安藤幹事、一年間ご苦労様でした。②二宮さん、五十嵐さん、お土産有難うございます。

関口 友宏／二宮さん、五十嵐さん、おみやげありがとうございます。

大川 伸一／市川会長、安藤幹事殿一年間本当にご苦労様でした。次年度もどうぞよろしくお祈りします。

兵藤 哲夫／新野徹様をお迎えして。



佐藤 真吾／市川会長、安藤幹事、増田ガバナー補佐、一年間有り難うございました。②兵藤さん、新野さんをご紹介いただき有り難うございました。ご入会いただけるとうれしいです。

倉本 宏昭／市川会長・安藤幹事一年間お疲れ様でした。

北澤 正浩／①市川会長・安藤幹事、一年間お疲れ様でした。よろしければあと一年いかがでしょうか？②二宮さん、五十嵐さんおみやげ有り難うございます。③ジャズまつりのチケットを今週より発売いたしました。宜しくお願い致します。

■卓話「一年を振り返って」

○幹事・安藤公一



市川会長の目指している横浜旭ロータリークラブの実現に向け、私なりに一年間努力してきたつもりでしたが、会員の皆様のご期待に応えられる様な充分な働きができたかという自分の力不足を感じずにはおられません。

私の至らない部分を市川会長を始めとする会員皆様がそれ以上にしっかりとカバーして頂いたことが無事に一年間を乗り切れた最大の要因であったと実感しています。皆様のご協力とご支援に心より感謝申し上げる次第です。この1年間のプログラムを振り返ってみると、

7月新年度スタート

ガバナー来訪、増田ガバナー補佐1年間お疲れ様でした。岩沼RC直前会長のご来訪もありました。

8月

ガバナーご来訪

9月 体験例会開催

10月 旭区ふれあい区民祭り

11月 地区大会

12月 クリスマス例会、岩沼での被災地児童へのクリスマスプレゼント

1月 瀬谷RCとの合同賀詞交歓会 第8回チャリティーコンサート

3月 IM、災害復興支援基金立ち上げ、 がんセミナー

4月 ガールスカウトとの清掃、体験例会

とほぼ毎月のように様々な奉仕活動を実施することができました。

又、後藤さんの突然のご逝去による想定外の減員などで会員数の純増は成し遂げることができませんでしたが、クラブの強化という面で考えると、それは達成できたとおもっています。会員全員の皆様が積極的にそれぞれの思いをもって参加していく良いクラブになってきているという実感があるからです。

この流れを次に繋いでさらに増幅していき、来年1月の創立50周年を迎えたいと思います。これからも宜しくおねがいします。繰り返になりますが本当に一年間ありがとうございました。

○会長・市川慎二



早いもので、今年度も残すところあと1回の例会となりました。昨年7月に、この歴史ある横浜旭ロータリークラブ第50代会長を拝命し、たいへん光栄で名誉なことと共に、責任の重さを日々痛感しながら、自分なりに今日までたどりつきました。この1年間、様々なことがありましたが、安藤幹事をはじめ会員皆様には、本当に温かいご支援を賜り、あらためて感謝の気持ちでいっぱいです。

振り返ると、安藤会員に幹事を引き受けていただき、増田会員がガバナー補佐を務められる中、7月、会員数31名、米山奨学生の沈さんが来会されてスタートしました。

今年度は気象災害、震災などの起こらない年であってほしいと願っておりましたが、西日本では大雨による被害が拡大し、当時160名以上の方が亡くなるといった大災害に心を痛めました。

帰国報告会では、塩さんが来会され、台湾での思い出、人生での考え方の変化などの報告があり、ロータリーの交換留学の素晴らし

さを感じる事ができました。

また、五十嵐会員にはアレン君の受入れを引き受けてくださり、本当にありがとうございました。

当クラブでは、滝澤年度にて50周年の委員長を、関口会員が快く引き受けてくださり、2020年1月29日の式典に向け、本格的に準備が始まりました。

また、岩沼ロータリークラブの渡辺さんが来会される中、横浜旭ロータリーと岩沼ロータリーの災害時相互支援協定のマークのデザインが採用されました。

8月、金子大ガバナーの公式訪問があり、地区の現状をもとに、ロータリーの目標、地区の方針の説明、そして、ロータリーの最大の目標に掲げている会員増強以上に、大切なものとして、

「ロータリーは何のためにあるのか？」

「我々は、何をロータリーに求めているのか？」

「そして、ロータリー活動、自分の仕事、生活に輝けるには」

といった話を頂きました。

会員減少の中、地区では20年前に3,500名いた会員が、約1,400名も減り、地区の運営の在り方を本格的に見直し、次年度、当クラブでも導入するCLPを通して、ロータリーの精神を守りながら、どう新しいものに挑戦できるか、それによって、クラブがどう活性化し、多様化を図っていけるかを検討してほしいと願われていました。

9月、第1回目の体験例会が開催されました。小笠原清基様の卓話、礼法、流鏝馬についてお話いただき、13名と、大勢のお客様の参加の中、たいへん盛り上がりました。

馬具の鞍の部分に木を使っていて、湾曲した木を育てるのに100年かかるというのにはびっくりしました。今年、旭区で開かれる、小笠原流の流鏝馬が楽しみです。また、災害支援基金の設立も同日行われました。

10月、米山記念館への見学バスツアーの開催、総勢16名、ウナギの昼食、スカイウオーク、大型バスの貸し切りと大好評でした。

晴天の中、開催された旭ふれあい区民まつりでは、岩沼のお米も順調に売れ、募金も29,015円集まりました。

国際奉仕として、ひまわり学園に図書の寄

贈を致しました。生徒たちは、本当に嬉しそうな顔で喜んでくれました。横浜市教育長からは、クラブに感謝状までいただき、二宮麻理子さん、青木さん、二宮登さん、宋さん、企画から実行、先日の2回目の寄贈まで、ありがとうございました。

11月、地区大会では、ガバナー補佐プログラム「部会が育むクラブの活力」の発表で、当クラブは「私たちが取り組んだクラブの活性化への挑戦」というテーマで新川会員が発表して頂きました。被災地復興支援として、当クラブで何ができるのかの検討、視察、被災地物品販売までの経緯と活動内容、チャリコン開催までの背景など、とても分かり易くまとめて頂きました。

また、朝倉春菜さんも登壇され、当クラブにとって、とても誇らしい地区大会でした。

11月14日、当クラブに長年ご尽力いただいた後藤会員がご逝去されました。家族、友人、クラブ会員や留学生と、関わる人を、本当にファミリーのように大切に受け入れてくださった後藤さん。当クラブでは会長をはじめ、各委員長やSAA、そして親睦活動でも柱のような存在でした。ロータリーをはじめ、留学生などの受入れからプライベートにまで、後藤さんには感謝の気持ちでいっぱいです。これからも後藤さんの顔も、声も、そして教えて頂いたロータリー精神も忘れません。当クラブを、本当に愛していた後藤さんの為にも、当クラブが今後も継続、発展し続けられるよう努力致しますので、見守っていてほしいと思います。

12月、恒例の岩沼の子ども達へのプレゼント配布。クリスマス家族親睦会ではジャグリング、朝倉さんの歌など、楽しいひとときを過ごせました。親睦委員の皆様、本当にありがとうございました。

1月、横浜瀬谷ロータリーとの合同例会。一番近くのクラブということで多くの会員がお越しくくださり、親睦を深め合うことができました。チャリティーコンサートでは、新川会員、福村会員を中心に企画、実行していただき、50,643円の募金を集めることができました。次年度は、被災地の学生も参加予定となっており、今年以上の盛り上がりが見込まれます。

2月、当クラブの今年度目玉となった、災害支援基金に関する要綱も完成に近づき、高梨名誉会員を始め、多くの方が発起人に手を挙げてくださりました。

3月、がんセミナーでは100名以上の参加者があり、多くの方ががん治療を始め、がんとの向き合い方を知ってもらえる機会になったと思います。大川職業奉仕委員長、ありがとうございました。

IMでは、「人生100年時代、あなたは今をどう活きますか」をテーマに、脳科学の権威、池谷祐二さんの講演会が開かれました。

須藤会員が、転勤に伴い退会となりました。得意のマジックでは、何度も楽しませていただきました。また会える日を楽しみにしております。

羽沢トンネル見学会が開かれ、完成間近の貴重な様子が見られました。相鉄様、倉本さん、大川さん、ありがとうございました。

4月、須藤会員の後任として、着任された佐藤二郎さんの入会式を行いました。インシエーションスピーチ、とても楽しかったです。新しい仲間が増え、大変嬉しく思います。

ガールスカウトとの清掃活動では、総勢24名が集まり、地域社会の一員として、また、綺麗で安全な町づくりの一環として行いました。ガールスカウトたちも、ゴミを拾い出すと夢中になり、大きなゴミを見つけるたびに、喜ぶ笑顔が印象的でした。

第2回体験例会では、横浜FCの奥寺様をお招きしました。人気のなかったサッカーを、現在のように盛り上げてくださった、第一人者だと思います。

5月、新元号令和となりました。米山奨学生のヒョウハクさんが来会。

創立50周年記念事業は、事業計画が無事に決まりました。委員長の関口会員、副委員長の安藤会員を始め、各委員長の皆様にお礼申し上げます。

臨時総会にて、災害支援基金に関する細則が制定されました。五十嵐委員長の強いリーダーシップにより、設立、要項、細則までたどり着きました。まさに地区からの、ロータリーの精神を守りながら、どう新しいものに挑戦できるかといった事への、当クラブなりの答えとなる設立だったと思います。

次年度にならないと、正式な数字が出ませんが、太田委員長、青木委員長の声もあり、会員皆様の寄付のお蔭で、ロータリー財団、米山への寄付成績も上がると思います。

会員増強は、本当に残念ながら達成できませんでしたが、引き続き、次年度へ向けて声掛けをして参ります。

こうして、1年間無事にクラブ運営、活動が行えたのも、この例会場を貸して下さりました岡田会員、事務局として貸して下さりました太田会員、たくさん助けていただいた事務局の聖子さん、年度前からご指導いただいた安藤幹事、理事の皆様、そして各委員長、各委員、会員の皆様のお蔭と、あらためてお礼申し上げます。

私のような無知で浅学菲才な人間が会長と、皆様に大変ご迷惑をお掛けしたと思います。それでも、多くのご指導、励ましのお言葉をいただく事で、会長を楽しみながら、ロータリーを楽しめました。ロータリーの友情に感謝とよく言われますが、皆様から多くの支援を賜り感謝を申し上げます。

1年間、本当にありがとうございました。

○ガバナー補佐 増田嘉一郎

御礼とお願いの挨拶

2018-19年度も残すところあと10日余りとなりました。昨日、新潟・山形で地震が起き、この被害、この処理がどうなるか分からない状況となっておりますが、今日現在でいうなら、この10日間が動きなく経過してくれることを願っています。

ガバナー補佐という貴重な機会を与えていただき、またこの1年間支えて頂いた横浜旭RCに感謝し、心から御礼申し上げます。目の前に迫ってくるスケジュールをこなしていただくだけで精一杯の一年間でした。地区大会を終えIMを終えたら仕事は終わりかといわれていましたが、その後も地区行事や次年度ガバナー補佐の紹介、そして今月は年度末の御礼の挨拶と忙しく経過していきます。各クラブの例会訪問はクラブ協議会やガバナー公式訪問の同行も含めて各8回に及びました。体力は年相応に衰えてきましたが、なんとかもったようです。

今年度第5北グループの大きな課題は次年度からの第5南グループとの完全統合に備え



での準備でした。メインは各クラブにとって負担の重いガバナー補佐と青少年交換留学生のホストクラブの担当順を決めることです。

第5北Gではガバナー補佐も青少年交換のホストクラブも順番を決めて担当してきましたが、第5南Gではガバナー補佐はガバナーエレクトの指名で青少年交換のホストクラブは順番を決めて回していました。ガバナー補佐については順番を決めている北Gの順番に従って候補を出すということになりましたが、これが難航しました。横浜瀬谷 RC にお願いしたのはガバナーエレクトから自主選考の期限とされた8月末の1か月前でした。次年度から第5Gが11クラブとなるという状況の中、横浜瀬谷 RC は柳沼芳光さんをガバナー補佐の候補に決めてくれました。次々年度以降は柳沼次年度ガバナー補佐に任せておけばいいのかと思っていたのですが、ご存知の地区改革のため早い段階での吉田年度のガバナー補佐候補の選任を求めるような話もあり、今年度中に次々年度以降のガバナー補佐の順番を決めておくことになり、これがまた難航したのです。

もともと南Gはガバナー補佐の順番がないものですから、南Gでは次年度から使われる第5Gの名簿順ということで意見が一致しており、北Gはその名簿に従うと、ここ2、3年目に担当することになるクラブからは反対意見が出され、北Gの意見をまとめるのは非常に難しい状況でした。結局横浜南陵 RC が次々年度ガバナー補佐を出すといくことで名簿順に回せることになりました。

青少年交換のホストクラブについては当初は北と南の順番のクラブ会長間でじゃんけんで決める方針でしたが、その責任の重さに会長が固辞し、私がガバナー補佐の順番を決め

るのに苦労しているのを見かねた南Gのガバナー補佐から青少年交換のホストクラブは南Gから出すという申し出がありました。次年度は南Gの横浜港南台 RC が、その次は新たなクラブ名簿に従い新横浜 RC が引き受けることになりました。この順番制度が今後順調に展開してくれることを願っています。

ロータリー財団や米山奨学生の寄附についても、その負担につきご協力をいただき心より感謝致します。ロータリー財団においてはベネファクターを6人も出していただきました。ところが6/11のガバナー補佐連絡会で、年間の結果をみたところ、当クラブは年次基金が目標金額より35.03ドル不足していたのです。原因は、マイロータリーというウェブサイトのロータリークラブ・セントラルというツールから、RIへ登録した目標金額が年度当初の会員数をもとに算出していたからです。毎年会長エレクトは年度開始直前、今頃ロータリークラブ・セントラルにロータリー財団の寄附額について登録するのですが、その際にこれ迄の会長はどなたも会員数をもとに目標金額を算出して登録していると思います。これを達成すると地区大会で地区目標達成クラブとして表彰されるのですが、会員数が一人減少したために年次基金がその目標金額より約4,000円足りなくなってしまうということだろうと思います。ベネファクターを6人出しながら年次基金が4,000円余り足らず表彰をのがすかもしれないということですから、急遽先週クラブ事務所へメールしたところ、市川会長がご負担いただいてクリアしたとのことです。会員の一人として会長のご協力を感じたいします。

最後のお願いは当グループの現状や入ってくる情報からみて、クラブ内で何人か噂をお聞きしておりますが、年度末退会者をできる限り出さないようお願いしたく、何とか年度当初の人数をプラスで終わらすことができたいと思っております。今後の当クラブにおける活動にこのガバナー補佐の経験を生かしていければと思います。一年間本当にありがとうございました。

■次週の卓話 7/3(水) 新年度開始

会長・幹事・各委員長就任挨拶
週報担当 倉本 宏昭